

「学ぶ楽しさ」 文化の遺伝子 MEME (ミーム)こそが学ぶ楽しさの源泉

1. 人間には2つの遺伝子がある。

DNA: 生命の遺伝子

MEME (ミーム): 文化(知識)の遺伝子 : リチャード・ドーキンス(1941 -)¹ 佐倉統(1960 -)²

2. DNA: 40億年の生命の流れ: 生命を親から受け継ぎ子へ引き渡す。

- ・DNA は自分の複製子をいかに良い環境(子供)に移していくかが主目的である。
- ・人間が40歳代になると、DNAの活動の主目的は終わる。DNAは新しい乗り物(即ち、子供)に本拠地を換え元の乗り物を破壊する。例えば生殖に関する前立腺がんや乳がん、子宮がんが増える。

3. MEME: 文化(情報)を受け取り次の世代に引き継ぐ: 「学ぶ楽しさ」は MEME により生じる。

- ・DNAの活動が衰えてきた時期に、MEMEの活動が活発化する。(40歳代以降)
- ・MEMEにより人は知を憧憬し、知との邂逅に欣喜雀躍する。
- ・MEMEの中の自己の知見をさらに高め、且つ、世の中に伝達することに喜びを感じる。
- ・MEMEとの対話は内面的である。自己を超えた大きな真理が訪れる場所である。

4. 私の MEME: 放送大学は私の MEME 醸成の道場である。

- (1) 大学数学³を一段ずつ上って行き、少しずつ論理展開の思考の視野が開けて来たことが実感できた時は楽しい。更に学ぶ意欲が湧く。放送大学の数学サークルは私の大切な交流の場である。
- (2) 私の僅かな知見は ICT⁴である。放送大学講座「情報システム科学」⁵から得ることが多い。
高齢者・視覚障害者に対する情報格差是正支援で前進する姿に接すると感動を覚える。
県立がんセンター長と共同でがん患者への情報提供システム⁶を構築中である。
- (3) 琴線に触れる仏像⁷との邂逅は楽しい。仏像はその時代の歴史を語る。仏像との静かな対話が生きる元気を与えてくれる。茨城の仏教彫刻史を ICT で纏めよう中である。

5. 生老病死 : 仏教の説く四苦は避けることができない。「老」も「病」も前向きに進もう。

- ・「病」で死の淵を覗くと自己の命の有限なることを悟り、生きている限り、只管、MEME を完成することにつとめるべしとの思いに至る。
- ・「老」: 老は知性の完成の時期である。ヘーゲル曰く「ミネルバの梟は黄昏時に飛び立つ。」⁸

6. 論語: 「学んで思わざれば則ち罔し(くらし)、思いて学ばざるは殆し(あやうし)」

<私の解釈> 『学んで思はば楽し。思いて学ばばさらに楽し。』 思うとは自己の知見を磨くこと。

7. 同行二人

四国八十八ヶ寺を弘法大師空海と同行二人で巡礼する遍路の中には、生涯巡礼を続ける「生涯遍路」と呼ばれる人々がいる。<私の同行二人> 伝教大師最澄と同行二人「生涯学習の旅」を続けたい。

1 著書『利己的な遺伝子』で文化システムにも情報を次の世界に伝播させる機能単位(自己複製子)が存在することを提唱し、MEME(ミーム)と名づけた。人間はDNAの乗り物に過ぎないと説く。
2 放送大学印刷教材『総合情報学』でMEMEを紹介。(東京大学大学院教授・元放送大学客員教授)
3 放送大学客員教授・長岡亮介著『線型代数入門講義 現代数学の“技法”と“心”』は座右の書。
4 ICT: Information Communication Technology
5 放送大学教授・川井慧(1944-)の『情報の世界』『情報科学の基礎』は名講座である。
6 がんの健康科学の URL <http://sites.google.com/a/dr-ohtani.net/cancer/>
7 茨城県文化財保護委員・後藤道雄著『茨城彫刻史研究』には大いに知的刺激を受ける。
8 「老」は肉情と野望から開放される。向学心をもって勤しめと元放送大学教授・渡辺二郎は説いた。